



①精密なプラスチック試作モデルを製造  
②元気いっぱいのスタッフ(ベトナム現地法人)  
③ベトナム現地法人の社屋外観  
④CADデータなどはベトナムで作成している  
⑤複雑形状の部品加工も得意とする  
⑥本社工場ではMCが24時間稼働

## の だ ぎ けん 有限会社 野田技研

- 短納期
- 小ロットOK
- 量産OK
- 試作OK
- 海外対応
- 連携力

代表取締役  
の だ ひろゆき  
野田 宏之 さん



技術を駆使し社会に貢献し、  
人間力を作る会社を目指す!

当社の持つ技術を駆使して社会に貢献すること、日々の業務を通じて人間力を形成すること、培った技術、人間力を次の世代に引き継いでいくこと、これらが経営の理念です。日々の小さな作業の繰り返しから社会に貢献できる技術を追求し、人間力を育てる会社を目指しています。

- 主な事業内容  
エンジニアリングプラスチックなど精密部品の試作・量産
- 主な取引先(納入先)  
家電、自動車関連、医療機器、アミューズメント機器、FA機器などのメーカー

住 所 / 〒570-0042  
大阪府守口市寺方錦通4-8-17  
TEL / 06-6994-0789  
FAX / 06-6994-0799  
創 業 / 平成 4年 9月  
設 立 / 平成 11年 11月  
資本金 / 300万円  
従業員 / 18名

<http://www.nodagiken.co.jp/>

# 精密で複雑形状の プラスチック試作モデルを加工

### 事業内容と沿革

## MC、光造形機、各種工作機械を駆使してものづくり

「野田技研」はエンジニアリングプラスチックなど精密部品の試作モデル製造や工業製品設計、2次元/3次元CADデータ作成などの事業を展開する。

プラスチック部品の試作などを行う企業の技術者だった現社長の野田宏之氏が、平成4年に大阪府東大阪市で独立して開業した。当初は受注の取り次ぎのみで加工は外注していたものの、納期や不具合への対応をより厳格にコントロールする必要から、マシニングセンター(MC)を導入し、自前での加工にも乗り出した。

その後、CADやCAMなども整え、平成11年に「野田技研」として会社設立した。

現在はMCのほか、光造形機、各種工作機械を駆使して精密で複雑な形状のプラスチックの試作モデルなどを作り出している。国内には本社工場と摂津工場(大阪府摂津市)を構える。ものづくりを通して社会貢献を目指す技術力に定評ある実力派企業だ。

### 強み

## ベトナムで 2次元/3次元CAD データ作成

メインの事業である試作モデルの製造は技術力だけでなく、納期やコストの面での対応力も求められる。

こうした顧客の要求に応えるため、同社は平成18年にベトナムのホーチミンに100%出資の現地法人「NODAGIKEN VIETNAM」を開業。各種のモックアップ(実物大模型)のデザイン図や立体図、設計図、2次元/3次元CADデータ作成などを行っている。

「プログラムなどのデータ作成はベトナムで、日本は機械加工に徹する完全分業体制を敷いている」と、野田社長は社の特徴を説明する。ベトナムでデータ作成することでコストが抑えられるうえ、日本との時差が有効に使い、1日の稼働時間が長くなる。例えば、日本の終業時間間際に入った注文でも、データ作成をベトナムに指示した場合、時差分2時間の余裕があり、仕事が進められる。ベトナムに祝日が少ないことなども有利に働いている。この海外戦略が功を奏し、価格と納期の双方に大きく貢献している。

### 取り組み

## 生産効率化へ創意工夫、 納期・コストでも競争力

同社では現在、流通しているプラスチック素地のすべてを取り扱える。プラスチック以外では、アルミニウムやジュラルミン、マグネシウム、真ちゅう、亜鉛合金などの金属材料の切削も行っている。工作機械は24時間稼働が基本だ。

このほか、試作品の製造だけでなく、量産部品の製造にも応じている。これはベトナムの現地法人を通じて現地のローカル企業に発注する形で展開している。

技術面では3次元の複雑形状部品の切削加工を得意としている。加工の際に固定しにくい加工対象物(ワーク)でも、別々のパーツにして加工するようなことは極力せず、ワークを確実に把握する専用の治具を作って対応している。通常5軸MCで行うような加工でも「3軸のMCで行い、5軸機と同じ加工をし、同じ精度を出している」と、野田社長は話す。こうした効率化への取り組みによって顧客の信頼を勝ち取り事業を着実に成長させてきた。

### 今後の展開

## 新たなモノを生み出す “発信型”企業に転換へ

ベトナムでのデータ作成業務や設計業務と、日本国内の試作加工技術を融合させることで、これまでの“受注・製造型”ビジネスモデルからの脱却を図る。設計の技とものづくりの技を生かして自社商品を開発するなど、新たなモノを生み出す“発信型”企業への転換を目指す。

さらには異分野への進出も目標に掲げる。建築分野の設計や施工の図面の作成事業にチャレンジする。これは日本国内の建築物件について、その設計や施工などの図面作成の部分、同社のベトナム現地法人が請け負い、データ作成や図面の書き起こしなどを行うサービス。コスト競争力と作業の迅速さを武器に、軌道に乗ればかなりの需要が取り込めると見ている。

建築分野に詳しい人材を日本国内で採用。現地に派遣するなどして事業立ち上げとノウハウの移行を進める。現地の人材も補充していく。異分野に足を踏み出すことで、事業の幅を広げ、一段と強固な経営基盤の確立を目指す。